

工芸会

聴覚・言語障害者の皆様が  
はたらき、生活する施設

# Work Center

たより

Vol.48

工芸会までの  
アクセスが  
更に便利に!!



九州新幹線 全線開通



KYUSHU SHINKANSEN



# これからの施設経営



理事長  
友池 一寛

工芸会ワークセンターには九十二人(二月十日現在の聴覚・言語に障害をもつ皆さんが働き、生活をしておられます。そして昨年四月からは、障害者自立支援法による新事業体系に全面的に移行しました。

ここに至るまでには、施設の職員をはじめ、多くの関係者の御努力と、地域の皆さんの御支援、御協力がありました。深く感謝いたしているところであります。ところで問題はこれから施設経営であります。

利用者の障害は重度化の傾向にあり、また重複障害者が増加しています。高齢化もすすんでいます。さらに受注する製品についても時代とともに変化しており、作業内容も変わってきています。そのため、職員の皆さんには、製品の受注、作業の指導等、御苦労をか

けています。皆さんの御努力により、幸いに大きな問題は生じていませんが、今後ともより一層の御努力をお願いしなければなりません。

ところで現在までの施設経営は、職員、利用者の皆さんの御尽力により、一応順調にすすんできました。経営上も赤字を出さずにきているわけでありです。しかし、これまで最大の収益をあげていた木工部門が、量的にも減少しつつあります。これは、技術上の問題や高齢化等のため、やむを得ない面もありますが、今後この傾向は続くでしょう。関係者としてはさらに一層の努力が求められます。とともに新しい作業部門の開拓という問題もあります。

新事業体系への移行、作業内容の変化とともに、施設としては、さらに利用者への支援、福祉サービスの向上に努めていかなければなりません。

今後とも関係の皆さんの御努力、御協力を宜しくお願いいたします。

## 新事業体系に移行して

「工芸会で、今のまま生活をし、仕事をしたい、してほしい」という利用者や家族の方々の思いに伝えられるよう、各種研修や役・職員との議論を重ね、新事業体系に移行して一年が経ちました。移行をすることで利用者や家族

の皆さんに混乱や不安が生じないように、また、安心してその人らしい充実した生活ができるように、支援のあり方や、職員の配置も一部変わりました。

夜間は宿直者と男女各一名の夜間生活支援員の計3人体制。食事や入浴の見守り、就寝や起床の声かけ等、今まで以上に幅広い支援ができるようになりました。夜間生活支援員が深夜にも巡回すること、夜間の利用者の様子もよりわかるようになり、トイレ

の声かけや誘導などもできるようになりました。

研修室だった部屋は改修し、これまでの軽作業2科を拡充して、新たに「なごみ」の活動の場になりました。なごみでは、割り箸の袋入れ作業や創作活動を行っています。絵画やレクリエーションを行う他、食堂前に掲示している誕生者の紹介パネルは、なごみの皆さんで分担して作成され、季節を感じられる楽しいパネルが出来ています。毎月、利用者・職員ともに自分の誕生日を楽しみにしています。

移行して、まだ一年。改善する部分や見直す部分もいろいろあると思います。今後も利用者や家族の皆さんの声に耳を傾け、よりよい施設を目指していきたいと思えます。

(末吉)



### イオン伊都店

工芸会ワークセンターより一番近い電車の駅は九大学研都市駅です。九州大学の移転に合わせて新設された駅です。隣にはイオン伊都店の中にお店が沢山あり、とても便利になりました。



### 九州大学伊都キャンパス

九州大学は、福岡市西区、糸島市にまたがる新キャンパス、伊都キャンパスをオープン、現在も建設が行われています。工芸会より車で約10分の所です。

(提供：福岡市)

**特集**  
**変わりゆく  
 工芸会周辺**



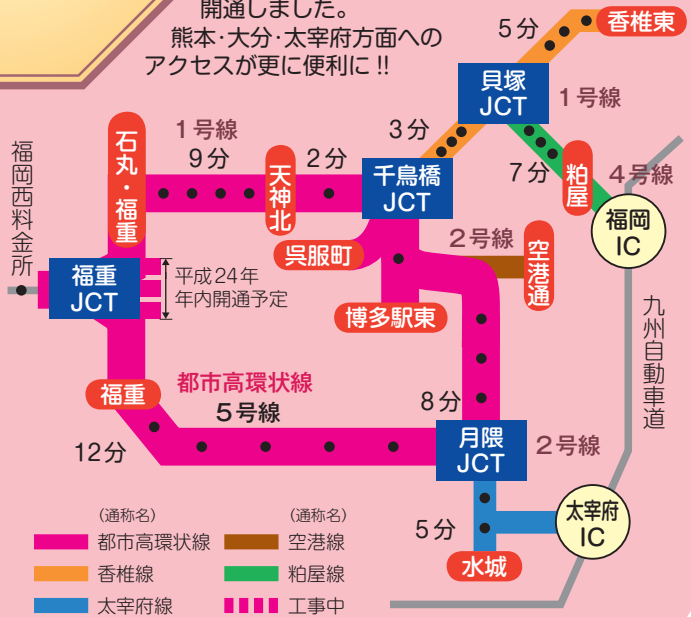
### さいとぴあ

西部地域の交流拠点 さいとぴあ  
「さいとぴあ」は、西部地域交流センターと、西区の図書館としては2番目となる西部図書館、行政機能を持つ西部出張所が一体となった施設です。出張所は今宿出張所が移転し、西部出張所と名称が変更になっています。

### 福岡都市高速道路

都市高環状線 野芥⇄福重間が平成23年2月26日に開通しました。

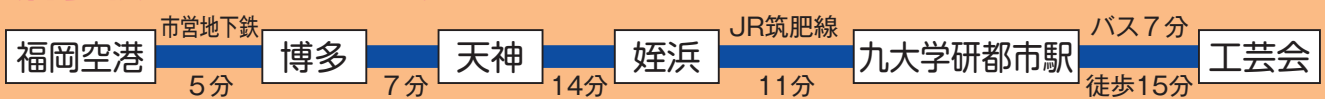
熊本・大分・太宰府方面へのアクセスが更に便利に!!



### 工芸会までの交通アクセス

九州新幹線の全線開通により、更に便利になりました。

#### 〈博多駅からのアクセス〉



#### 〈九州新幹線〉 所要時間比較

3月12日(土)に、九州新幹線(鹿児島ルート)が全線開業しました。博多～熊本間が最速33分で、博多～鹿児島中央間が最速1時間19分で結ばれます。



# 「工芸会ワークセンターまつり」

## 11月



平成22年11月21日(日)に、第20回工芸会ワークセンターまつりを行いました。昨年度は、法人創立百周年記念式典を行い、まつりは実施しなかつた為、利用者・職員共に久しぶりのまつりという感覚があり、楽しみで気持ちが高ぶる中、準備を進めていきました。まつり当日は、入場者千二百人を数え、私



は、模擬店を担当していましたが、人の波が途切れることがなく、とても忙しかったです。利用者の方々は、慌てる気持ちを抑え、笑顔でがんばりました。熱い熱いと言いつつ、とうもろこしを丁寧に焼く方。冷たくいと言いつつ、氷を入れたジュースボックスから飲み物を取り出し、タオルで拭いてお客様に手渡す方。失敗ばかりしながらも、あきらめずに真剣な顔でヨーヨーつくりを行う方。ボランティアの福岡舞鶴高校の生徒さんのお手伝いもあり、みんなでまつりを作り上げ、一体感を感じることができました。

(山口)

# 新年会

## 1月



新年会の感想  
利用者 西村 正義

私は、司会進行役を務めました。まず、始めの言葉、乾杯、余興等盛り上がり、本当に楽しい満足のいく新年会が出来ました。終始和やかでくつろぎやすく、とても良い雰囲気でした。司会役は、大変忙しく



平成23年1月6日、11時半より新年会を行いました。新年会には、ラフな格好の人や、ネクタイをきりりと締めスーツ姿で参加している人もいました。今日は一日参加された皆様、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

# クリスマス会

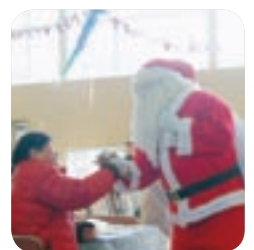
## 12月



クリスマス会の感想  
利用者自治会会長 松本 義則



平成22年12月18日土曜日、11時30分から14時20分までクリスマス会を行いました。利用者自治会が中心になりクリスマス会の企画から準備、そしてクリスマス会の実施に至るまでみんなで力を合わせて頑張りました。



クリスマス会には、日頃お世話になっている先生方にも参加していただき、ゲームやサンタクロースからのプレゼント等、みんな一緒に楽しい一時を過ごすことが出来ました。お忙しい所に出席していただいて本当にありがとうございました。

# ひな祭り

## 3月



# 節分 豆まき

## 2月



毎年2月中旬頃、工芸会のロビーには七段飾りのお雛様が飾られます。優しい顔立ちのお雛様は、工芸会が平尾にあった頃の物で、30年以上前のものだと思います。

道具のあちこちに傷みが出てきていますが、大切に飾り続けていきたいと思えます。これからも、工芸会の皆さんを見守っていきましょう。

2月2日(水)に、工芸会ワークセンター体育館にて節分の豆まきを行いました。今年はずさぎ年の利用者・職員合わせて5名の皆さんで豆をまきました。今年の福を我



先にと次々と飛んでくる豆を拾う姿は、真剣そのものでした。皆さん今年も元気で幸せな一年でありますように！  
(卯年)



# 嗜好調査結果



一年に一回、利用者の方を対象に嗜好調査を行っております。調査方法は、イラスト集を使用したり、実際の献立を写真に撮ったりして、利用者の方にわかりやすいように工夫し、聞き取りを行いながら調査をしています。今回は、3月24日主食・主菜について、尋ねてみました。主食の御飯

については、殆どの利用者の方が好きと回答、パンについても、好きと回答した方が多かったので、一割程度の方が嫌いと回答でした。主菜については、肉料理と魚

## 利用者の方食事の調査結果

	質問内容	好き	きらい	無回答
1	ごはんは好きですか？	68	5	17
2	パンは好きですか？	59	12	19
3	みそ汁は好きですか？	65	5	20
4	野菜は好きですか？	49	19	22
5	牛乳は好きですか？	56	15	19
6	食べたい料理は何ですか？	○カレーピラフ ○ちゃんぽん ○ステーキ ○ドリア ○かつ丼 ○お寿司 ○カツカレー ○焼きそば		
7	肉と魚どちらが好きですか？	56 (肉)	15 (魚)	19

料理は、どちらが好きですかとの問いには、圧倒的に肉料理でした。魚は骨があり、むしるのが面倒との声がありました。今後、魚料理の提供の仕方、調理法等、工夫を重ね、利用者の皆さんが魚をより食べていただけるように努めていきたいと思えます。

嗜好調査を行うにあたり、利用者の方々の声を大切に、利用者の方々の健康の為、笑顔の為、よりよい給食の提供に努めたいと思います。

(竹下奈)



本年度より、毎週水曜日に体力の増進や体力の減退防止を目的に、健康増進運動を取り入れました。

散歩・体育館・体操の3班に分かれ1時間程度みんなで運動を楽しんでいます。

当然のことながら、夏は暑く・冬は寒い日もあります。時には雨の日もあります。その時の気候に合わせて、屋内運動に切り替えたりすることもあります。皆さん、作業の合間の息抜きになっているようです。

まだまだ十分ではありませんが、来年度に向けて工夫を加えていきたいと思えます。



## 皆さんとの出会い

施設長 竹田 豊

平成22年度は、いろいろと大変な年でした。

工芸会ワークセンターにあっては、旧事業体系の身体障害者授産施設から新事業体系の障害者支援施設へと、それに伴い活動も授産活動から生活介護の生産活動へと移行し、支援の在り方や事務処理関係などとまどうことが多かった1年でした。

また、夏は37℃にもなる日があるなど酷暑でしたが、冬になると10℃以下の日が20日以上連続するなど寒い冬でした。

そのような状況にあっても、利用者の皆さんは作業に、あるいは体力減退防止活動に励んでいます。

毎日の作業は、なかなか大変ですが、障害があっても皆さん手際もよくスムーズに、そして熱心に取り組んでいる姿に感動しました。

私は、平成22年6月に施設長に就任し10か月が経過しましたが、年齢からくるものか記憶力が減退しており手話の習得は遅々として進みません。



それでも身振り手振り、あるいはわずかに覚えた手話で利用者の皆さんとお話すると、利用者の皆さんは明るく、そして人懐っこく接してくれ、理解しようとしてくれます。

障害者自立支援法を廃止して新たに障害者総合福祉法を制定すべく検討されているなど、障害者福祉制度は今大きな転換点を迎えようとしています。

工芸会ワークセンターとして、利用者の皆さんの経済的、あるいは日常生活的な自立を目指すうえでどうあるべきかを、利用者の皆さんの立場にたって、そして制度の改正動向を注視しながら更に検討していく必要があります。

このような大きな流れの中にあっても、工芸会ワークセンターは、平成23年度も利用者の皆さんが安心して、そしてゆとりを持って生活が送れる「我が家」であるべく、一步一步着実に職員一同、より一層利用者の皆さんの支援に努めてまいります。

## 福岡舞鶴誠和保育園様オープンに向け 家具一式を受注

工芸会ワークセンターの近く、社会福祉法人福岡舞鶴誠和会さんが今回保育園を新設されました。

新設されるにあたり、工芸会ワークセンター木工係に用具棚や園児椅子など沢山の商品の発注をいただき



作成の様子



納品時の様子

ました。年明けより、木工係の利用者・職員総動員で商品の製作に取り組みました。2月下旬に納品を無事終わることが出来ました。ありがとうございました。(木工係)

## 苦情解決第三者委員会開催

平成23年2月14日

平成22年度 苦情解決第三者委員会 (工芸会ワークセンター)

去る2月14日(月)14時から工芸会ワークセンター多目的ルームにおいて、平成22年度苦情解決第三者委員会が開催されました。

出席者は、苦情解決第三者委員の中村・笠岡委員。福岡ろうあ福祉会からは、友池理事長・中島副理事長・山部常務理事が出席。工芸会ワークセンターからは、苦情解決責任者竹田施設長また、苦情受付担当者小原施設長補佐、田尻苑からは、苦情解決責任者音藤施設長と嘉村生活部長が出席致しました。

はじめに、友池理事長より苦情解決第三者委員会開催の挨拶が行われ、山部常務理事を議長に審議に入りました。

工芸会ワークセンター苦情受付担当者小原施設長補佐より、工芸会ワークセンターの苦情要望等の意見聴取の機会について説明が行われた後、平成22年度の苦情・要望の件数1件について苦情・要望の内容と解決にいたるまでの経過報告を行いました。

今年度、工芸会ワークセンターの苦情要望は、苦情受付ボックスによる苦情が1件、内容としては、利用者間のトラブルに関するもので、

重複障害がゆえに勘違いとなり苦情としてボックスに投函されたものでありました。

苦情解決第三者委員の中村・笠岡委員より工芸会ワークセンターについては、今回の苦情及び苦情解決の対応について特に指摘するような事項はなく、以前も同じ利用者で同じような報告があったことを説明すると、「障害がゆえに勘違いによるものが多く大変ですね」との感想がありました。

その他、笠岡委員より携帯帯を使用している人数やトラブルはないのかとの質問があり、工芸会で以前実際に起こった根拠のない内容のメールが飛び交い利用者が情緒不安定になった事例についての説明を行いました。

最後に、「集団生活は感情論になるので難しく、トラブルは起こりえるし、起こらないのがおかしい。判断力・理解力の差もあるし、職員間での情報共有上初期対応のいかんによってそれが苦情になるか、ならないかである」とのご意見をいただき、今後の施設運営にとっても意義ある委員会となりました。



- 4月
  - 花見会
  - 工芸会ワークセンター開設記念日
- 5月
  - 工芸会ワークセンター移転記念日
  - 第1回健康診断
- 6月
  - 野外活動
  - 夜間避難訓練
  - 夕食会
- 7月
  - 夕涼み会
  - 七夕
- 8月
  - 納涼バスハイク
  - ※お盆休暇在寮者対象
- 9月
  - 福岡市障がい者スポーツ大会
- 10月
  - レクリエーション大会
  - 社会見学旅行



- 毎月の定例行事**
- 誕生会
  - 健康増進運動
  - 買物支援
  - 休日支援
  - 自活訓練
  - 避難訓練
  - クラブ活動
  - 懇談の日等

- 11月
  - 工芸会ワークセンターまつり
  - 第2回健康診断
  - 夜間避難訓練
  - 夕食会
- 12月
  - 障がい者週間
  - クリスマス会
  - もちつき
  - バイキング昼食会
- 1月
  - 初詣
  - ※年末年始休暇在寮者対象
  - 新年会
  - 鏡開き
- 2月
  - 節分(豆まき)
  - 針供養
- 3月
  - ひなまつり
  - 総合防災訓練
  - 夕食会



**編集後記**

先日、生まれて初めてギックリ腰になった。よりにもよって、厄入りの誕生日であった。ハッキリいってショックだった。

慌てて広辞苑を広げた。こう書いてあった。(厄年)人の一生のうち、厄に合う恐れが多いから忌み慎まねばならないとする年、数え年で男は25・42・61歳、女は19・33・37歳という。と記してある。なんとなく知ってはいたものの、まさか自分だけは、との過信があったような気がする。何事も、おごりや過信が怪我や失敗を招くものだとしみじみ感じた。節目は大事にしたい。

時に、自分の足元をゆっくりと見つめることも大事である。(泣)



**利用者入退所状況**

**退所**

平成22年7月11日付 橋口 夏那さん

**入所利用**

平成22年11月1日付 吉村美代子さん

平成23年3月1日付 柴住 孝博さん

平成23年3月3日付 藤原 寛さん

平成22年11月11日付 永田 啓明さん

今回、福祉のまちづくり推進大会にて工芸会ワークセンターの職員4名が表彰されました。おめでとうございます。さらなるご活躍をお祈りいたします。

表彰者(順不同)

福岡市長表彰 看護主任 上野登代子

福岡市長感謝状 施設広報担当主任 藤間 宏之

福岡市社会福祉協議会 会長表彰 生産管理部付 長田 盛隆

福岡市社会福祉協議会 会長感謝状 生活支援員 吉田 淳子

平成22年度福岡市福祉のまちづくり推進大会開催される。

工芸会ワークセンターたより Vol.48  
 発行  
 〒819-0383  
 福岡市西区田尻2542  
 社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会  
 障害者支援施設  
**工芸会ワークセンター**  
 TEL 092-806-7774  
 FAX 092-806-8962  
 E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp  
 URL http://www.kougeikai.or.jp

